

公共事業事前評価調書(平成27年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	渡嘉敷港港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	渡嘉敷村字渡嘉敷地内					
事業の諸元	護岸(防波)(改良) L=159m、臨港道路(改良) L=130m					
事業の概要	<p>渡嘉敷港は、那覇の西約30kmにある渡嘉敷島の東側に位置し、那覇港とのあいだに定期フェリーと定期高速船が就航しているほか、地元の小型船等が利用している。</p> <p>荒天時に波が護岸(防波)を越波し、船揚場等の施設が被災しているため、護岸(防波)の嵩上げ159mを行うとともに、あわせて背後の臨港道路の改良(L=130m)を行う。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 本港は、荒天時に波が船揚場の東側に位置する護岸(防波)を越波し、船揚場まで押し寄せ危険な状況にあるため、港湾施設の安全性確保の観点から護岸(防波)の嵩上げを行うとともに、あわせて臨港道路の改良を行う。</p> <p>《効果》 本港の小型船だまりは、漁船、遊漁船、プレジャーボートに利用されており、護岸(防波)の嵩上げを行うことにより、港湾施設の安全性が向上し、地域振興および定住化促進に寄与することができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成27年度	完了(予定)	平成29年度		
全体事業費	2.3	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益: B	4.5	(億円)	総費用: C	3.61
	=	台風後の 休業損失回避等便益: 4.50億円		総事業費: 3.4億円 維持管理費: 0.21億円	基準年	平成26年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策3-(11)離島における定住条件の整備—ウ交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化」に位置付けがある。					
環境への配慮	既存施設の改良であり、埋立を生じないことから、環境に与える影響は軽微であると考えます。					
関係する地方公共団体等の意見	地元、渡嘉敷村から要望がある。					
概要図(位置図)						